

◆ from LiSA

次号予告 2026年7月号 Vol.33 No.7

[徹底分析シリーズ] **プラネタリーヘルスと麻酔**

▼ プラネタリーヘルスとは

市立貝塚病院 麻酔科・中央材料室 水谷 光

▼ 吸入麻酔薬の環境負荷

福岡大学病院 手術部 重松 研二

▼ 区域麻酔や全静脈麻酔薬は地球に優しい麻酔?

杏林大学医学部付属杉並病院 麻酔科 鶴澤 康二・増田 恵里香・田淵 沙織

▼ 手術部から出る廃棄物

水谷 光

▼ 医療施設としての取り組み

岡山協立病院 総合診療科・救急科 横田 啓

▼ 環境教育の現在地

京都府地球温暖化防止活動推進センター / 総合地球環境学研究所 木原 浩貴

[症例カンファレンス] **後頭骨頸椎固定術後の再調整術**

症例提示：兵庫県立西宮病院 麻酔科 古賀 聡人

JCHO 徳山中央病院 麻酔科 坂本 誠史

大阪ろうさい病院 麻酔科 奥村 一仁

新潟大学医学部総合病院 高度救命救急センター・集中治療部 晝間 優隆

[連載]

● 快人快説

日本から脳波モニタリングの研究を発信する! 特定臨床研究の物語

聖路加国際病院 麻酔科 宮坂 清之

● こどものことをもつと知ろう

小児の虫歯

愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 名和 弘幸

● 今さら聞けない手術手技

内視鏡下鼻副鼻腔手術

大阪ろうさい病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 西池 季隆

● グリーン麻酔科医への道

Fiona Stanley Hospital での取り組み③

順つくばみらい産婦人科クリニック 一般社団法人みどりのドクターズ 事務局メンバー 岡原 祥子

◆◆◆ our favorite ◆◆◆

耳慣れない言葉かもしれませんが。そもそも麻酔科医の業務と関係があるのか? 医療者として、麻酔科医として取り得る対策が、何か一つでも見つかるかと嬉しいです。(H)

脱炭素はしんどい! 忍耐を強いるだけ。熱中症になるよ? そう思っている方にこそ読んでほしいと思います。(H)

あまり馴染みがないかもしれませんが、口腔内の話です。お子さんがいる方は仕上げ磨きの必要性についても言及があります。(N)

徹底分析シリーズともリンクする、手術室内でのリサイクルの話です。合わせてお読みください。(N)

読者アンケートから

2026年4月号「手術場での急変対応」に寄せられたコメントは、チーム医療の必要性を痛感させられたとするものから、チーム医療というより実態は麻酔科医による対応なのでは?とするものまで、さまざまでした。

- ◆ 実態に即した例で参考になりました。
- ◆ チーム医療の時代を改めて痛感させられる、素晴らしい内容でした。

◆ タイトルはチーム医療だが、内容は麻酔科医による急変対応の印象が強かった。また、各章とも充実していたがバラバラな印象もあった。しかし、最後の仙頭先生のまとめがうまく締められていました。多職種によるチーム医療の重要性が増す中、本企画が他科との連携を考える端緒になれば幸いです。